

平泉藤原氏の時代、当地域は、その一門である樋爪氏の支配下にあった。樋爪の苗字は居住地の地名に拠ったもので、「比爪」あるいは「肥爪」・「火爪」とも書き、いづれも後世の「日詰」と同訓である。樋爪館を本拠とし、志波郡の西部を領して権威があったようである。

—「紫波町史(第1巻)」1972 紫波町発行—

◎ 樋爪館遺跡道案内人の服装が真っ赤な帽子とベストに・・・

赤石地区ひづめ館懇話会では、本年度からボランティアガイド「樋爪館遺跡の道案内人」活動を始めました。この案内人が着用する帽子とベストが、岩手県長寿社会振興財団の助成により完成し、7月8日の第2回樋爪館遺跡めぐりが初御披露目となりました。赤石に因んで帽子もベストも赤一色にしましたが、案内人が分かりやすいと概ね好評ででした。

《《《 8～9月行事予定のお知らせ 》》》

8月15日 (水曜日)	第34回月例懇話会 会員発表・意見交換等	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：(未定) どなたでも参加できます。
9月2日 (日曜日)	—五郎沼周回路完成記念— 第2回樋爪館遺跡めぐり 往時を偲び経塚跡上で 世界遺産 平泉の風を 感じましょう！ 《コースは裏面参照》	午前8時30分 JR日詰駅(賢治歌碑前)集合 〈全行程約2km(午前11時30分散散予定)〉 参加人数 先着30人 参加料300円(資料代込み) 参加申込先 676-3999 赤石公民館内事務局 676-5822 観光案内所さくらばな ☆ 履き慣れた厚底の靴で、歩きやすい服装。日よけの帽子。 ☆ 天候の急変に備えて雨具等は必ず持参ください。 ☆ 飲料水、副食品、筆記用具その他。カメラなども・・・
9月19日 (水曜日)	第35回月例懇話会 会員発表・意見交換等	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：桜井芳彦 テーマ：比爪館について(2)

-?-?-?-?-?-?- 樋爪氏 / 樋爪館 -?-?-?-?-?-?-

Part 3

発掘を主とした樋爪館の調査は、大正年間に岩手県が行った史跡名勝天然記念物調査が最初で、この調査で五郎沼とその周辺から数々の遺物が出土しました。本格的な調査は、紫波町教育委員会の手で1965(昭和40)年から始まり、その後現在まで断続的に行われてきました。これまでに井戸跡・掘立柱建物群・板塀跡・かわらけなどが出土しています。

嘉永年間(1848～54)当時の南日詰村の絵図面や、弘化3(1846)年の絵図、それに郷土史家の推測を重ね合わせると、館の塀は延長1^{キロ}近く巡らされ、南側は満々と水をたたえた五郎沼に守られていたようです。

当然の如く、居住と政務と城柵の3要素を備えていたのでしょう。

本家の平泉は、京の都を凌ぐほどと言われ、また小京都とも評せられました。その分家一族が造営し、支配の要とした樋爪館周辺は、「小京都」と言ってもおかしくない様相を呈していたと推測されます。

(4) 五郎沼の造営

樋爪館を造営する際に造られたといわれる五郎沼は、北上川に注ぐ滝名川を水源とし、暴れ川だった滝名川の反乱を防ぐと共に、灌漑の役割も担っていたと考えられます。現在の大きさは、堤防や駐車場を含めて約6^{ヘクタール}ですが、作られた当時は----- (次号につづく)

樋爪館遺跡めぐりコース



- ① 樋爪館周辺説明板
- ② 出土箇所説明板
- ③ 大荘厳寺跡擬定地
- ④ 五郎沼薬師神社
- ⑤ 阿弥陀堂
- ⑥ 箱清水石卒都婆群
- ⑦ 古代蓮の池
- ⑧ 五郎沼説明板
- ⑨ 山吹川
- ⑩ 五郎沼の南端
- ⑪ 蛇の塚(経塚)跡
- ⑫ 嶋の堂観音
- ⑬ 夜泣き石
- ⑭ 清水端・古碑
- ⑮ 樋爪館北側大溝跡
- ⑯ 樋爪館跡標示板

赤石地区ひづめ館懇話会 樋爪館跡の道案内人

- ☆ お友達やご近所の方など誘い合って数人のグループで、お申込みください。
- ☆ 日程・コース等については、ご相談に応じますので事前にお問い合わせください。

日詰駅前観光案内所「さくらばな」 TEL 019-676-5822

赤石公民館内ひづめ館懇話会事務局 TEL 019-676-3999